



## プロの音色に感動

6月19日、普代小学校体育館で村内4小学校の児童196人を対象に青少年劇場「東京金管五重奏団」による演奏会が開かれました。同演奏会は、フランスの王様のために作られためでたい曲「王様のファンファーレ」や運動会の徒競走では必ずといっていいほど流

れる戦いの戯曲「戦い」「剣の舞」など14曲、語りを入れながら一曲づつ演奏されました(写真)。

プロの音色に、児童たちは目を輝かせ体でリズムを取りながら聴き入っていました。

青少年劇場は一青少年に豊かな文化芸術を一と(財)日本青少年文化センターが毎年開催しています。

は、村特別養護老人ホーム「うねとり荘」(野崎貞信施設長・入所者五十人)を訪れ、心をこめて育てたアマリリスの鉢植えを贈り、鶴鳥神楽の演目の一つ御神楽



入所者らにあいさつする鳥茂渡小児童たち

高屋敷舞さん(五年生)は「私たちが大事に育てた花です。受け取ってください」と、利用者一人、松家フミさん(八十歳)に、大輪の真紅の

花をつけたアマリリスの鉢を手渡しました。松家さんは、「うれしくて、涙がでます」と感動でいっぱいの方です。同小学校は平成八年度からアルミ缶の回収活動も展開、回収した缶は換金し、これまでに車いす六台を購入して特別養護老人ホーム・うねとり荘に寄贈しています。アマリリスの球根は昨年度、三陸・花と水の回廊推進協議会主催の花づくり活動コンクールで優秀賞を受賞したとき、参加賞としていただいたものです。

## アマリリスと御神楽で笑顔

六月二十八日、鳥茂渡小(菅原伊保校長・児童十三人)

を披露してお年寄りを楽しませました。

児童会長の

## 『地域を花で飾ろう』

六月二十三日、「三陸花の回廊・フラワーロード45」参加による花植えはふれあい交流センター横の広場で上区、中央区から約六十人が参加して行なわれ、した(写真)。この事業は、三陸・花と水の回廊推進協議会(会長・熊坂義裕宮古市長)主催で、沿岸の十八市町村と四つの地方振興局、三陸国道事務所で組織。沿岸市町村の道路、国道四十五号の歩道上などに花を植えたプランターを設置

し、沿岸各地を「フラワーロード」として飾るものです。花植えに参加した中央区の松頭恵さん(普代小四年生)は、「植え方がよくなったが、楽しかった。参加してよかった」とうれしそうに話してくれました。



目指して、村民一丸となつて頑張りたいものです。美しい村づくりは、一人ひとりの意識から生まれます。「住んでよかった村」を